

令和7年度進行管理・評価シート
盛岡市歴史的風致維持向上計画（平成30年11月13日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画法との連携	2
2 盛岡市景観計画との連携	3
3 盛岡市屋外広告物条例との連携	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 旧第九十銀行本店本館保存修理事業	5
2 歴史的風致形成建造物保存整備事業	6
3 歴史的風致形成建造物維持管理事業	7
4 歴史的風致形成建造物修理・修景事業	8
5 盛岡城跡保存整備事業	9
6 市内民俗芸能・祭礼継承支援事業	10
7 無形民俗文化財継承支援事業	11
8 歴史的建造物調査事業	12
9 歴史文化資源情報発信事業	13
10 地場・伝統産業振興事業	14
11 盛岡小さな博物館事業	15
12 無電柱化事業	16
13 大慈寺地区街なみ環境整備事業	17
14 高松公園整備事業	18
15 環境保護地区維持管理事業	19
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存及び活用の現状と今後の方	20
2 文化財の防災に関する方針	21
3 埋蔵文化財の取扱いに関する方針	22
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	26

評価軸①-1
組織体制

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
計画の推進体制(景観政策課)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	本計画の推進体制については、事業推進に関係の深い景観政策課と歴史文化課が中心となり、庁内横断的な連携を図りながら、計画の効果的な推進を図るものとする。また、計画策定後も定期的に協議会を開催し、事業の進捗状況の報告確認や、事業の円滑な実施に係る連絡調整、計画変更に伴う協議を行うものとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
事務局の景観政策課と歴史文化課が連携して事業を推進している。 歴史まちづくりに関する庁内会議 計2回実施 令和7年7月17日 第1回盛岡市景観審議会を開催 令和8年2月12日 第2回盛岡市景観審議会を開催 令和8年2月16日 第1回盛岡市歴史的風致維持向上計画協議会を開催			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



令和7年度 第1回盛岡市景観審議会

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
都市計画法との連携(都市計画課)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 歴史的風致と調和した都市機能の充実を図りながら、市民協働の景観づくりを行うとともに、まちなか居住や地域の安心安全を支えるコミュニティの形成などに取り組んでいく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度末に改定した盛岡市都市計画マスタープランについて、盛岡市公式ホームページに掲載した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○都市計画マスタープラン【全体構想】変更

2024/01/04 16:02

盛岡市都市計画マスタープラン本編 | 盛岡市公式ホームページ

現在の位置: [トップページ](#) > [市政情報](#) > [市の計画](#) > [都市整備に関する計画](#) > [都市計画マスタープラン](#) > 盛岡市都市計画マスタープラン本編

盛岡市都市計画マスタープラン本編

広報ID1036219 更新日 令和5年11月20日

Q
目的別で探す

都市計画マスタープラン【全体構想・地域別構想】(令和5年3月版)

- [目次 \(PDF 849.1KB\)](#)
- [序章 盛岡市都市計画マスタープラン見直しの背景と経過 \(PDF 719.0KB\)](#)
- [第1章 上位計画等 \(PDF 1.9MB\)](#)
- [第2章 本計画におけるまちづくりの課題 \(PDF 10.9MB\)](#)
- [第3章 まちづくりの方向性の確認 \(PDF 666.4KB\)](#)
- [第4章 まちづくりの基本的な方針 \(PDF 1.6MB\)](#)
- [第5章 市民協働によるまちづくり \(PDF 481.1KB\)](#)
- [第6章 地域別構想 1.中心地域から8.仙北地域まで \(PDF 26.7MB\)](#)
- [第6章 地域別構想 9.盛南地域から15.好摩地域まで \(PDF 27.5MB\)](#)
- [第7章 まちづくりの事業計画 \(PDF 740.4KB\)](#)
- [目次～第5章 一括ダウンロード\(軽量版\) \(PDF 9.5MB\)](#)
- [第6章～第7章 一括ダウンロード\(軽量版\) \(PDF 29.8MB\)](#)

都市計画マスタープラン【概要版】(令和5年3月版)

- [概要版 \(PDF 14.9MB\)](#)

都市計画マスタープラン【リーフレット】(令和5年3月版)

- [リーフレット \(PDF 14.1MB\)](#)

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
盛岡市景観計画との連携(景観政策課)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 歴史的風致の維持向上を図る上で必要な景観形成に関連する事業の推進を図りながら、市民の合意形成のもと、「景観地区」、「地区計画」等の都市計画制度等の活用を検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観形成に対する市民の意識の高揚を図るため、啓発事業として都市景観賞及び盛岡市都市景観シンポジウムを開催した。景観地区内においては、16件の認定申請があり、景観誘導を図った。
 また、「歴史的景観要配慮区域」を定め、特定の中高層建築物については、令和8年度から建築等に係る事前協議を行うよう条例で定めた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

啓発事業である、都市景観賞及び盛岡市都市景観シンポジウムが隔年開催となるものの、来年度からは新たな啓発事業として、景観ツアーを実施予定。引き続き、意識の醸成を図る。

状況を示す写真や資料等

令和7年度都市景観賞 3件



○mina perhonen Morioka (ミナペルホネンモリオカ) koota joki/matka (コータヨキ/マトカ)



○株式会社齊藤興業elb (エルブ)

○盛岡市中央公園 BeBA TERRACE (フェーズ1)

令和7年度景観地区内建築計画認定申請状況(令和8年1月末現在)

	新築・増築・新設	外観変更	計
認定申請件数	12	4	16
通知件数			
合計	12	4	16

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
盛岡市屋外広告物条例との連携(景観政策課)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 歴史的風致の維持向上のため、今後も、盛岡市屋外広告物条例の周知に取り組みつつ、市民・事業者に対して意識の向上を図り、良好な景観の保全と形成を目指していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・岩手県屋外広告美術業協同組合主催の第11回岩手広告景観タウンミーティングに参加した。
- ・良好な景観の保全と形成のため、違反広告物の簡易除却を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



第11回岩手広告景観タウンミーティング



違反広告物除去前



違反広告物除去後

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
旧第九十銀行本店本館保存修理事業(観光課)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 重要文化財である旧第九十銀行本店本館(もりおか啄木・賢治青春館)を適切に維持管理するとともに、建物修復整備を行う。また、建造物周辺(指定範囲外)の門柱等の修景整備等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度から2か年において、旧第九十銀行本店本館保存活用計画策定検討委員会を設置し、旧第九十銀行本店本館保存活用計画策定に向けて事業を進めている。令和7年12月1日には第一回目の委員会を開催し、意見交換を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

重要文化財であることから、国(文化庁)の予算を活用しながら、経年劣化が進んだ建物の保存活用計画策定により計画的に進めていく必要があり、庁内での合意形成を図りながら、予算確保に努めていく。

状況を示す写真や資料等



(位置図)



旧第九十銀行本店本館(もりおか啄木・賢治青春館)

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
歴史的風致形成建造物保存整備事業(景観政策課・観光課)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成31年度～令和9年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業

計画に記載している内容 景観重要建造物に指定されている紺屋町番屋、市指定文化財である石川啄木新婚の家について、歴史的風致形成建造物に指定した上で、維持保全と利活用の推進を図るため、建物の改修を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

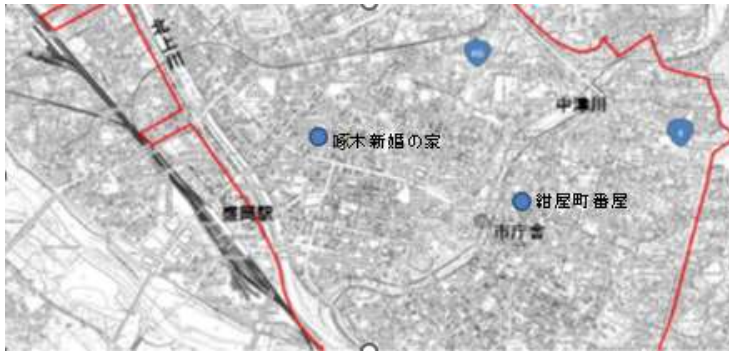
市指定文化財及び景観重要建造物に指定されている啄木新婚の家について、街なか観光の重要な資源として、維持保全を行った。
紺屋町番屋についてはプロポーザルで選定された事業者により令和4年3月から利活用が開始され、現在も継続している。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



(位置図)



啄木新婚の家



紺屋町番屋内部写真①



紺屋町番屋内部写真②



紺屋町番屋営業の様子

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
歴史的風致形成建造物維持管理事業(景観政策課・環境企画課)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業

計画に記載している内容 市所有の景観重要建造物である「旧宣教師館」・「御蔵」・「旧覆馬場練兵場」、保護庭園「一ノ倉邸」について、歴史的風致形成建造物に指定した上で、保存修理等を行うとともに、適切かつ円滑な維持管理と建物の公開・活用等を積極的に推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

盛岡市自然環境及び歴史的環境保全条例に基づき庭園や屋敷林を保護庭園に指定し、身近な自然環境を保全した。保護庭園「一ノ倉邸」は昭和49年に保護庭園に指定後、保存要望を受け、平成4年に市が土地・建物を取得し、歴史的な建物のある庭園としてイベント等を実施しながら歴史的環境にふれる場として一般公開している。「旧宣教師館」・「御蔵」・「旧覆馬場練兵場」については地域に開放され各種行事に利用されている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

令和3年度より管理を担う一ノ倉邸管理保存委員会の運営体制が変わったが、今後も同様に管理委託を継続する。取得以降、造園業者による庭園管理は行われていないため、樹木が成長し、隣接地から落ち葉等被害の苦情があり、管理について委託先と協議しながら適切に管理する。

状況を示す写真や資料等



旧宣教師館



旧覆馬場練兵場



御蔵



一ノ倉邸(庭園内)

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
歴史的風致形成建造物修理・修景事業(景観政策課)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成31年度～令和9年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業
計画に記載している内容	歴史的風致形成建造物に指定した建造物の外壁等の保全に係る修理・修景整備を行う建物所有者に対し、事業に係る経費の助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物の指定について、指定候補建造物所有者には意向を確認し、新たに、3件指定した。修理修景補助については、「地域の観光資源充実のための環境整備推進事業」を活用し、令和8年度「莫産九」の葺瓦屋根修繕工事を実施予定である。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・建築資材等の高騰に伴い、工事費の増額が見込まれるが、市負担額の増額が難しいことから、上限の定めがない「地域の観光資源充実のための環境整備推進事業」の直接補助を活用することとし、民間所有者へ周知を図っていく。

状況を示す写真や資料等



莫産九 全体写真(勤労福祉会館側)



莫産九 葺瓦屋根修繕箇所

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
盛岡城跡保存整備事業(公園みどり課・歴史文化課)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	昭和59年度～令和9年度
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金(歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業)、国宝重要文化財等防災施設整備事業補助金(重要文化財等防災施設整備事業)、社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 史跡盛岡城跡と盛岡城跡公園(岩手公園)の歴史的価値と象徴性を高めるため、各種調査を行いながら、石垣修復や遺構整備のほか、公園施設整備等を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

石垣変位調査(継続)、三ノ丸石垣上部・下前面盛土工事、石垣測量図化、発掘調査、整備委員会、文化庁・整備委員との協議等を実施した。三ノ丸北西部石垣周辺では瓦門跡の発掘調査を実施し、幕末期の坂道面を確認することができた。本丸地区の発掘調査(127.35㎡)を実施し、本丸北東部において、本丸御殿に伴う礎石13石や採取穴、江戸期の御殿玄関に伴うと考えられる敷石状遺構について確認することができた。また、発掘調査現地説明会を開催した(180人来跡)。また、史跡盛岡城跡本丸整備基本計画を策定した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	【課題】円滑な合意形成と事業費の確保。 【対応】事業費確保と速やかな合意形成に努め目標年完了を目指す。 三ノ丸周辺の園路整備を進める。また、本丸地区の内容把握を進め、調査成果の公開等に努めるとともに、整備内容の検討を進めていく。

状況を示す写真や資料等

史跡盛岡城跡整備基本計画第I期(H25～R9)整備平面図



三ノ丸石垣上部盛土工状況



三ノ丸石垣下部盛土工完了



本丸北東部の発掘調査状況



発掘調査現地説明会の様子

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度 現在の状況
市内民俗芸能・祭礼継承支援事業(観光課)			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	チャグチャグ馬コの装束や、盛岡八幡宮の山車行事で使われる山車の修理・更新等のほか、舟っこ流しやさんさ踊りなどの行事を次世代に継承していくための講習会や情報発信の機会などを設ける。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年度は、チャグチャグ馬コ行進行事及び盛岡さんさ踊り、盛岡秋まつり山車、盛岡舟っこ流しなど盛岡市の各種行事が例年通り開催された。コロナウイルス感染症の影響で中止していた行事も開催されるようになり、市内民俗芸能・祭礼継承につながる土台が回復している中、市では、行事の継承及び運営経費の一部負担など支援を行った。			
また、チャグチャグ馬コは市内外各施設等への派遣事業を実施し、盛岡さんさ踊りでは「街なかさんさ発信事業」を実施した。山車行事に関しては、行事本番に併せて「おもてなし山車ふれあいショー」を開催し、各行事について積極的な情報発信を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルスの影響から抜け出し、各行事を再開することができ、後継者の育成等の土台が戻りつつあるため、保存継承につなげるよりいっそうの継続的な支援が必要である。		

状況を示す写真や資料等



チャグチャグ馬コ派遣事業



チャグチャグ馬コ行進行事



盛岡秋まつりにおける「山車運行」



盛岡さんさ踊り

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
無形民俗文化財継承支援事業(歴史文化課)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成30年度～令和9年度
支援事業名	文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業
計画に記載している内容	市内各所に所在する無形民俗文化財の保存・継承のため、用具等の更新支援を行うとともに、後継者の確保・育成を図るため、青少年による発表の場を設ける。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年8月31日(日)、無形民俗文化財(郷土芸能)の伝承活動の成果を披露する場として、盛岡市無形民俗文化財保存連絡協議会の主催により、イオンモール盛岡で青少年郷土芸能フェスティバルを開催、7団体120人が出演し、2,110人が観覧した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	無形民俗文化財の保存・継承のため継続的に支援を行う必要がある。

状況を示す写真や資料等



ポスター



出演団体 (八ツ口神楽)



出演団体 (三本柳さんさ踊り)

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度 現在の状況
歴史的建造物調査事業(歴史文化課)			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重点地域における未指定・未登録の歴史的建造物の保存・活用を推進するため、建造物の構造や来歴の調査を、設計事務所やまちづくりNPO団体等に依頼し、歴史的風致形成建造物の指定を推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
地方指定や未指定の有形文化財(建造物)について、構造や来歴とともに、損傷などの程度を確認するための調査を実施。 令和7年度は、東屋(原敬記念館敷地内所在)を対象に調査を実施した。 また、令和6年度には国登録有形文化財が1件(旧盛岡天主堂)登録された。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	建造物の歴史的価値を知るとともに、適切に保存が図られるよう、継続的に調査を実施していく。		
状況を示す写真や資料等			



東屋
(原敬記念館敷地内所在)

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
歴史文化資源情報発信事業(歴史文化課・観光課)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的建造物の周辺など、来訪者が多い場所において、歴史文化資産の紹介や観光ルートなどに関する案内板及び説明板等の新設・更新・修繕を行うほか、解説パンフレット等を作成する。なお、案内板、説明板の整備、パンフレットの作成に当たっては、多言語化や通信機器との対応を検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

指定文化財の所在や内容を説明するための標柱や説明板の新設、更新等について、継続的に実施しているもの。令和7年度は、歴史的建造物の周辺など来訪者が多い場所において、歴史文化資産の紹介や観光ルートに関する周知パンフレットの増刷を行い、周知を図った。また、歴史的建造物を含むモデルコースの周知を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

多言語化に対応したデジタルマップの更新・周知・利用促進に努めていく。

状況を示す写真や資料等



パンフレット表紙



パンフレット裏表紙

多言語化・通信機器との対応



歴史文化資産の紹介



観光モデルコース(デジタルマップ上)

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
地場・伝統産業振興事業(ものづくり推進課)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 本県を代表する伝統工芸品である南部鉄器は、技術の継承が課題となっていることから、後継者育成のため若手職人による展示会を開催するなど、伝統産業の保護・育成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

当市の伝統的工芸品等の職人育成を支援し、技術・技法の継承を図るため、南部鉄器協同組合青年部と連携し、若手職人による青年展を開催している。(令和2年度～令和4年度はコロナ禍で中止。)令和5年度、6年度はオンライン上でバーチャル展示会を実施したが、来場者数(閲覧者数)が想定より伸びず、海外からの閲覧も少なかったことから、令和7年度は、オフラインでの「南部鉄器交流販売展示会」を開催した。(令和8年3月21日～22日開催)
 その他、企業サポート専門員による事業者訪問等により事業者の抱える課題の把握、技能、技術の継承や工房の経営面への助言等を実施。首都圏での工芸品展実施による販路拡張支援も行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

伝統的工芸品の後継者育成には、技術の継承が課題になる等期間を要することから、継続して支援していく。

状況を示す写真や資料等



評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度 現在の状況
盛岡小さな博物館事業(ものづくり推進課)			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統的な産品等を製造・販売している店舗や工房を訪れた市民や観光客、修学旅行生に対し、販売品の生産工程や技法の解説等を行うとともに、ホームページやパンフレット等による情報発信を進め、周知を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
生産された製品や用具、関連した文献や資料について、市民や観光客、修学旅行生等に公開できる施設を小さな博物館に指定し、販売品の生産工程や技法の解説等を行っている。なお、令和7年度は小さな博物館の追加は行わなかった。 小さな博物館数 令和元年度:24館、令和2年度:24館、令和3年度:25館、令和4年度:25館、令和5年度:25館、令和6年度:24館、令和7年度:24館			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	産業観光を通じて、盛岡の特産品や地場産品に関する理解や関心を深めていき、産業振興を図るため、情報発信を充実させ周知を図る必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
			

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
無電柱化事業(道路建設課)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成31年度～令和11年度
 支援事業名 社会資本整備総合交付金(道路事業)

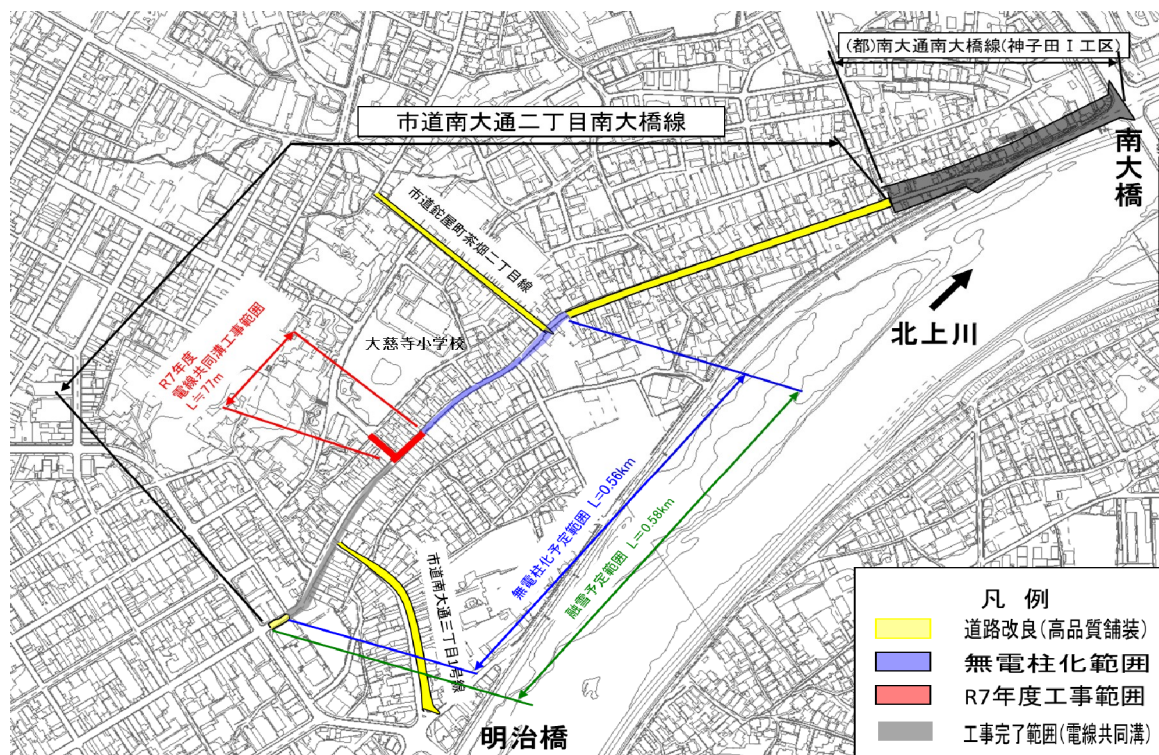
計画に記載している内容 盛岡市歴史的町並み保存計画において、重点保存地区となっている大慈寺地区の歴史的景観を保全するため、電線共同溝整備事業等を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・電線共同溝工事(特殊部1箇所、管路77m)を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	国の無電柱化推進計画事業の補助事業として実施しているが、要望通りの配分となっておらず、進捗に影響が生じている。国への要望活動などを行い事業費の確保に務める。

状況を示す写真や資料等



特殊部設置状



管路敷設状



評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
大慈寺地区街なみ環境整備事業(景観政策課、観光課)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和9年度
 支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業

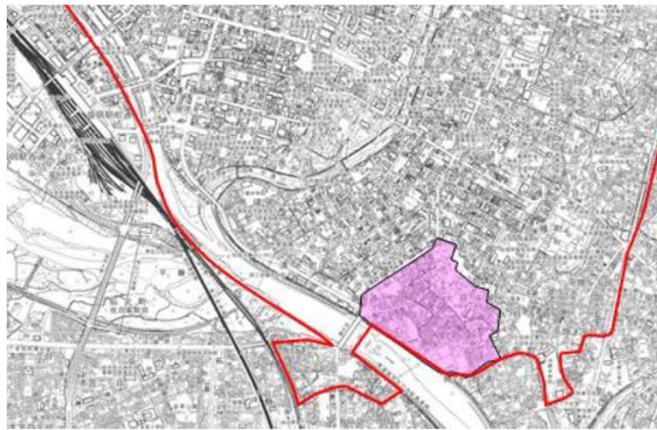
計画に記載している内容 地区内に所在する盛岡の町屋の改修とその他歴史的建造物等の保存修理を実施する事業者等に対し、修理にかかる経費の助成を行い、連続性のある歴史的まちなみを活用した観光活用や賑わいづくりを促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

修景補助:0件、相談案件3件
 協議会活動助成を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	予算措置を確実にするため、事前相談の期限を定め、今後も次年度の確実な実施に向けて周知を行っていく。

状況を示す写真や資料等



(位置図)



(盛岡町家)



(あさがおプロジェクト)

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
高松公園整備事業(公園みどり課)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和52年度～令和9年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市公園整備事業)

計画に記載している内容 江戸時代に造られた溜池を活用し、明治期に整備された公園の歴史的・文化的価値を高めるとともに、市民の憩いの場としての環境保全を図るため、池の堤体や便益施設の整備等を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

公園区域内の用地取得及び建物等移転を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

事業期間内において工程調整を図りながら、用地取得及び移転補償の実施に務める。

状況を示す写真や資料等

令和7年度用地取得面積 220.15㎡、建物等移転 一式



評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
環境保護地区維持管理事業(環境企画課)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和47年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 盛岡市自然環境及び歴史的環境保全条例に基づき、市街地周辺の歴史的建造物とそれを取りまく環境を環境保護地区として指定している。これら保護地区の保全のため、固定資産税及び都市計画税の減免により、所有者の負担軽減を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

環境保護地区13地区について固定資産税及び都市計画税の減免を行うことで、所有者の負担軽減を図り、環境保全に努めた。

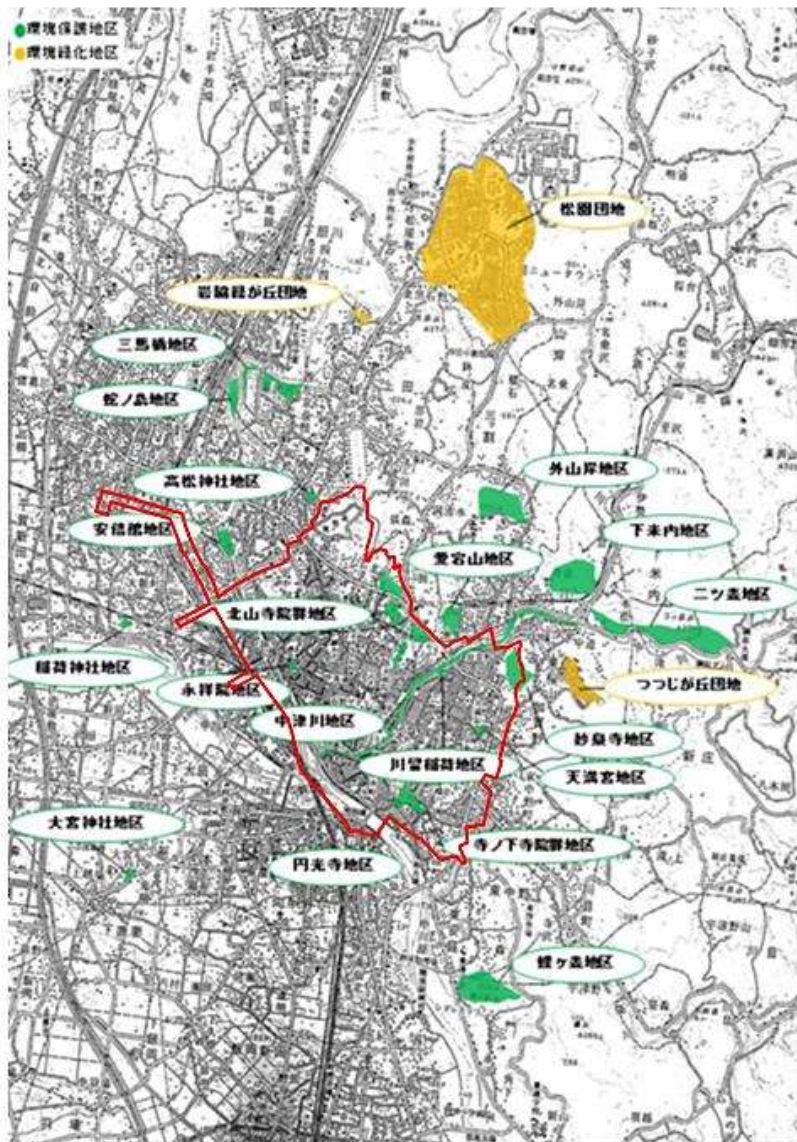
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

指定から40年以上経過している個所が多数であり、区内の維持管理について課題が多い。指定の継続や廃止については、盛岡市自然環境及び歴史的環境保全条例に基づき策定している盛岡市自然環境及び歴史的環境保全計画に基づき定期的に検討していく。

状況を示す写真や資料等



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度
			現在の状況
文化財の保存及び活用の現状と今後の方針(歴史文化課)			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	国及び県、市の指定文化財は、所有者や管理者に対して、文化財保護法、岩手県文化財保護条例、盛岡市文化財保護条例及び関係法令に基づき、適切な維持管理に関する指導・助言を行っている。 未指定の文化財については、所有者及び管理者と協議を行った上で対象物件の調査を実施し、市文化財保護審議会に諮りながら文化財の価値を判断し、必要に応じて保存・活用に向けた取組を推進していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
指定文化財管理費補助として、59件について補助金の交付を行った。 月1回の文化財パトロールにより、指定文化財及び説明板等の状況を確認。必要に応じて所有者に対し、維持管理に関する指導・助言を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	未指定文化財の調査を進めるとともに、指定文化財については所有者と連携し、文化財の適切な保護に努める。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
文化財の防災に関する方針(歴史文化課)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 防火の面では、消防署の指導の下、文化財防火デーの実施や消防法で設置が義務付けられている防火設備の設置や点検を行うほか、必要に応じて防火訓練を実施するなどの予防対策をとるものとする。また、地震への対応としては、盛岡城跡の石垣変位調査等を継続的に行い、地震による石垣の変動量と、今後の傾向を分析しながら石垣の保全を図るほか、文化財の構造に応じて耐震補強等を行い、き損等が発生しないように日常の観測及び対策を講じるものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

第72回文化財防火デーに関連し、令和8年1月23日に臨江庵、盛岡天満宮を対象に消防設備等の特別査察を実施するとともに、1月24日にも石川啄木記念館・盛岡市玉山歴史民俗資料館において火災防御訓練を実施した。
 史跡盛岡城跡において、石垣の動態を観察するため、令和7年4月から令和8年3月までの期間で石垣変位調査業務委託を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財を災害等から守るため、所有者が必要な措置を講ずることができるよう、消防等の査察、指導を継続していく。 また、城郭石垣については、定期的な動態観測を継続し、崩落の危険性が高い範囲を特定し、必要な措置を講ずることができるよう準備するものとする。

状況を示す写真や資料等



石川啄木記念館・盛岡市玉山歴史民俗資料館

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
----	--------	----------------

埋蔵文化財の取扱いに関する方針(歴史文化課)

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

周知の埋蔵文化財包蔵地において土木工事等を実施する際には、事前協議の段階で遺跡の現況や過去の調査事例、工事の内容により調査方法の判断を行った上で発掘届の提出を指導し、調査時期を調整の上、工事等の内容に応じて発掘調査を実施している。
調査により遺構等が確認された場合については、調査経費や調査期間について協議を行い、岩手県教育委員会の指示、勧告のもと、引き続き適切な保護措置を講じるものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

埋蔵文化財の取扱いについては、文化財保護法93・94条に基づく埋蔵文化財発掘の届出・通知107件、本発掘調査6件、試掘調査10件、立会調査58件の対応を行った。
埋蔵文化財の普及啓発としては、盛岡市遺跡の学び館において、テーマ展1回、企画展1回、埋蔵文化財調査速報展1回を開催しているほか、企画展や速報展の際には図録やパンフレットを作成した。(来館者6,367人 令和7年4月～12月まで)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

埋蔵文化財については、現地での案内や説明会、遺跡の学び館における展示会等を通して、普及活用を進めていく。

状況を示す写真や資料等



企画展ポスター



テーマ展ポスター

評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道	評価対象年度	
	令和7年度	令和7年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
須恵器工房の遺構紹介 盛岡市遺跡の学び館24年度調査速報展	令和7年4月5日	岩手日報
チャグチャグ馬コ 6月14日パレード	令和7年4月11日	岩手日報
啄木と賢治 修学旅行たどる 盛岡・青春館で企画展	令和7年4月15日	岩手日報
町家にぎわう雑祭り	令和7年4月16日	岩手日報
街なかさんさ4年目始動 過去最多の55公演予定	令和7年4月23日	岩手日報
響くおはやし 武者行列勇壮 桜山神社例大祭	令和7年5月26日	岩手日報
盛岡城下町の変遷ひもとく 歴史文化館 企画展	令和7年5月29日	岩手日報
笑顔、拍手 沿道に満ち 滝沢—盛岡チャグチャグ馬コ	令和7年6月15日	岩手日報
歴史を再発見 楽しい街歩き	令和7年6月24日	岩手日報
縄文土器 文様美に迫る 盛岡・学び館テーマ展	令和7年7月3日	岩手日報
もりおか歴史文化館は14日まで、江戸時代から昭和初期までのお菓子に関するテーマ展「甘味」を開催	令和7年7月12日	岩手日報
盛岡さんさ きょう開幕(1~4日) 指導と普及 情熱継承 振興協議会 設立50年目 統合踊り創設、基礎築く	令和7年8月1日	岩手日報
戦後80年 盛岡・20日まで企画展 南昌荘 米軍宿舎の記憶 接收当時の様子紹介 故永井緑さん証言基に	令和7年8月14日	岩手日報
夕闇 川面 照らす送り火 盛岡舟っこ流し	令和7年8月17日	岩手日報
もりおか歴史文化館企画展 大槌金沢金山開発に迫る 絵巻や盛岡藩士の日記展示	令和7年9月6日	岩手日報
盛岡・あす開幕 さあ秋まつり「か組」復活へ 6年ぶり30回目の出演	令和7年9月13日	岩手日報
盛岡山車 待つ手に日傘 秋まつり開幕	令和7年9月15日	岩手日報
盛岡秋まつり最終日の16日、盛岡八幡宮例大祭神事の「流鏝馬(やぶさめ)」が奉納	令和7年9月17日	岩手日報
新渡戸通り 生誕の地に 下ノ橋町内会が「愛称」23日看板披露 盛岡・功績語るフェスで計画紹介	令和7年9月19日	岩手日報
声 騎馬像台座 現在地が適切	令和7年9月23日	岩手日報
来年の盛岡秋まつり 都南地区から初の山車 待望「見前組」が発足 合併から34年 一体感醸成へ意欲	令和7年9月23日	岩手日報
原敬生家 武田邸修繕へ CF 盛岡市 進む老朽化 計1530万円 目標	令和7年9月30日	岩手日報
紅子の魅力 背景に迫る 盛岡・野の花美術館企画展 取り巻く人々に重点	令和7年9月30日	岩手日報
原敬生家の修繕に協力を	令和7年10月2日	岩手日報

南部鉄器 400年の技 盛岡・鈴木盛久工房	令和7年10月9日	岩手日報
南部家墓所の五輪塔調査 盛岡で鎌倉中世石造物研究会	令和7年11月1日	岩手日報
盛岡 夕間に浮かぶ赤・黄色 南昌荘・紅葉ライトアップ 16日まで	令和7年11月4日	岩手日報
内丸プランに地元中生の声 盛岡市が基本方針最終案	令和7年11月21日	岩手日報
原敬生家へ広がる善意 盛岡市が来年度修繕 住民や児童が寄付協力 14日までのCFに追い風	令和7年12月10日	岩手日報
深沢夫妻の四季 温かみ 盛岡 野の花美術館・企画展	令和7年12月13日	岩手日報
原敬生家へ善意届け	令和7年12月16日	岩手日報
県公会堂 外観や各部屋「保存」計画構成案 文化財価値維持へ	令和7年12月23日	岩手日報
滝沢 チャグチャグ馬コ初詣 午年の活気願い歩み	令和8年1月3日	岩手日報
「干支にちなんだ資料展—うま—」盛岡手がみ館	令和8年1月8日	岩手日報
南部鉄器伝統と進化たどる もりおか歴史文化館展示 職人がギャラリートーク	令和8年1月17日	岩手日報
盛岡 31日に埋文公開講座・遺跡報告会	令和8年1月17日	岩手日報
盛岡 息災祈り 清めの炎 盛岡八幡宮「どんと祭」	令和8年1月17日	岩手日報
盛岡 ころころ団子とまるまるほっぺ 園児と学生 ミズキ飾り作り	令和8年1月17日	岩手日報
盛岡 雪踏みしめ願う繁栄 盛岡駅前地区で裸参り	令和8年1月26日	岩手日報
盛岡 健康願う心温める炎 桜山神社どんと祭	令和8年1月29日	岩手日報
アート 文化財と融合 盛岡市中央公民館で企画展	令和8年1月31日	岩手日報
県文化財に2件指定へ 中津川橋梁青銅擬宝珠(盛岡)/大迫あんどんまつり(花巻)	令和8年2月7日	岩手日報
盛岡 歴史的町家どう残す 住民ら景観フォーラム	令和8年2月11日	岩手日報
盛岡 さんさ基本からしっかり 初心者体験会	令和8年2月23日	岩手日報
平面図 盛岡城の姿克明 江戸時代の文書に「袋とじ」市教委発見	令和8年3月14日	岩手日報
ナルド・キーンと石川啄木 もりおか啄木・賢治青春館企画展 美しい日記に心引かれ 「ローマ字—」に焦点 日本文化・芸術両者の視点から	令和8年3月19日	岩手日報
家老席日記刊行再開へ 盛岡市、中断から一転 本県出身者が必要額寄付	令和8年3月21日	岩手日報

- ・令和7年4月16日～7月14日、テーマ展 甘味ーもりおか・お菓子の記憶ー(もりおか歴史文化館)
- ・～令和7年5月18日、第42回埋蔵文化財調査資料展(盛岡市遺跡の学び館)
- ・令和7年4月26日～7月6日、企画展 マチノカタチー盛岡城下町の都市プランー(もりおか歴史文化館)
- ・令和7年6月1日～9月15日テーマ展「文様をたどるー縄文土器に刻まれた線と形ー」(盛岡市遺跡の学び館)
- ・令和7年7月18日～11月7日、テーマ展 稲造以前のことー盛岡藩士・新渡戸一族ー(もりおか歴史文化館)
- ・令和7年8月9日～10月26日、企画展 金山を開発せよー「大槌金沢金山之図」のなぞに迫るー(もりおか歴史文化館)
- ・令和7年10月4日～1月18日、企画展「遺跡の学び館総選挙2025ーあなたの推しは？ー」(盛岡市遺跡の学び館)
- ・令和7年11月19日～令和8年2月16日、テーマ展 干支コレクション「午」(もりおか歴史文化館)
- ・令和8年1月10日～1月31日、特別展 「南部鉄器展ー暮らしの中の鉄器たちー」(もりおか歴史文化館)
- ・令和8年2月14日～5月10日、企画展「季節を彩る人形ー願う・愛でるー」(もりおか歴史文化館)
- ・令和8年2月18日～4月20日、テーマ展「千葉記」に見る南部利雄の幼少期 (もりおか歴史文化館)
- ・令和8年2月18日～4月20日、季節の展示、「鉦屋町から吊るし雛がやってきた」もりおか歴史文化館
- ・令和8年2月7日～5月17日、第43回埋蔵文化財調査資料展「盛岡を発掘するー令和7年度調査速報ー」(盛岡市遺跡の学び館)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

・文化財の保存活用を進める上で、市民の関心を高めていく必要があることから、今後も必要に応じて情報の発信に努めることとする。

状況を示す写真や資料等



もりおか歴史文化館特別展



遺跡の学び館企画展

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和7年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 令和7年度第1回盛岡市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和8年2月16日(月)13:30～	
(コメントの概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・無電柱化事業について、計画通り進捗してないと評価しているが、要望通りの予算編成ができない場合は、その範囲内で工事を完了させ、来年度以降へ継続していくのか。 ・小さな博物館事業の博物館への指定について、指定数が増加していないがどういった状況か。 ・小さな博物館事業については、就学旅行生への売り込みツールになっているが、以前のように体験ができるような小さな博物館が縮小している。 ・小さな博物館事業について、事業評価のためのアンケートを実施しているが、小さな博物館として登録されている事業者に店舗等にきた修学旅行生等の数を取りまとめて報告させるというのは負担が大きいのではないか。また、外国人向けガイドサイトなどに掲載するなどして、PRする方が効果的ではないか。 	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"> ・無電柱化については、補助金の配分状況が思わしくなくない状況ではあるが、起債事業等を活用し、事業を実施している。しかし、予算不足が生じているため、計画通りにして進捗していないとしている。 ・小さな博物館事業に係る指定数については、変化がないように見えるが、指定箇所の増減によるものである。引き続き、協力いただける事業者を増やしていく予定である。 ・小さな博物館事業においては、高齢化が進み縮小傾向にあるが、地道な声掛け等を継続していく。 ・成果指標のためにアンケートを実施していたが、今後方法を検討する。また、PR方法についてはSNSの活用を検討していく。 	